



同窓会だより

第 28 回
平成 29 年 3 月
発行 呉高専同窓会

平成28年度 総会・懇親会について

平成29年1月3日、3年に1度開催される本同窓会の総会および懇親会が呉森沢ホテルにて開催されました。例年の通り幹事期の機械・電気・建築26期～28期および土木21期～23期を中心に、また今回から再度1期～5期生も幹事期としてご参加いただき、約80名の卒業生および現役・OB教職員を迎えて開催されました。

12時より同窓会総会が開催され、過去3年間の行事や動向が報告されま

した。50周年記念事業でのマイクロバス寄贈などの活動報告を中心に、学校や学生への支援、および表彰の状況が報告されました。また、同窓会役員の変更も行われ、現副会長の大石氏および加納氏に代わり、新副会長として機械工学科28期の坂口氏および土木工学科15期の増木氏を迎えることが提案され、了承されました。最後に今後3年間の事業計画が提案され、了承されました。



続いて12時30分より懇親会が開催されました。島田会長より開会挨拶の後、名誉会長の森野校長より乾杯のご発声を頂き開会しました。会の中程では、各科の同窓会学内理事より近況報告を行い、続いてご出席頂いた機械工学科の坂口様、電気工学科の山根様、土木工学科の増木様、建築学科の小尻様より近況報告や同窓会へのご要望や激励等をいただきました。

終始和やかな雰囲気で行われた懇親会は、今年度で退任される加納副会長より閉会の挨拶と乾杯の音頭を頂き閉会しました。

今回は3年後の平成31年度に総会・懇親会が開かれる予定です。お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますよう、宜しく願い致します。

(機械工学科28期 上寺哲也 記)

同窓会の皆様へ

会長 島田裕己
(土木工学科5期)

同窓生のみなさんこんにちは、総会での承認を受け引き続き会長を続けさせていただき事となり新たな気持ちで3年間務めさせていただきます。今回も総会への出席者が前回より若干増えたとはいえ100名に足りませんでした。私自身もそうでしたが、同窓会たよりが届くとか、クラス幹事から連絡があるとかでないと同窓会の活動に興味のない会員の方が多くいると感じます。同窓会の活動とは関係ありませんがテレビ放映等でご存じの方もおられると思いますが、東京の新橋に同窓生による「よせがきノート」のある居酒屋があります。同店のホームページを閲覧したところ1480番に呉高専の「よせがきノート」がありました。東京近郊在住

同窓生の集まりや東京出張の際には是非一筆よせがきをしてみたいかでしょうか。些細なことから新たな交流が生まれる事があるかも知れません。

私学等では同窓会館等がありいつでも母校で集まれる場所や機会があるようですが、現在呉高専には残念ながらそういう場所がありません。卒業生の交流や活動だけでなく在校生のインターンシップ等にも手助けとなるスペースの校内への設置や、同窓会の支部を県内から立ち上げ、学科や業種にこだわらない交流・活動の助けとなりネットワークをより広げていけるようにしていきたいので皆様のご支援・ご協力のほどよろしく申し上げます。県内支部以後は、関東・関西・九州支部へと輪が広がっていくようによろしく申し上げます。県内支部の立ち上げにご協力いただける方は、自薦・他薦を問いませんので是非同窓会へご一報をお願いします。

校長あいさつ

遅く歩み始めた
新生呉高専

校長 森野数博

同窓会のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。みなさまのご支援により、盛大に行われた創立50周年記念行事から2年が経とうとしていますが、この間、呉高専は次の半世紀に向け、いいスタートを切ることができ、遅く歩み始めました。

めざすところは全体の底上げ、そしてその上での教育成果のUP。主なポイントは、昨年度から本科の学生に対して行っている「インキュベーションワーク」ならびに今年度改組した専攻科「プロジェクトデザイン工学専攻」。どちらもねらいは同じです。すなわち、自ら見出した課題を解決することにより、自主性・自立性・創造性を涵養し、イノベーションに対応できる遅い人材を育てること。改組した専攻科定員を大幅に増やしたことにより、7年一貫教育の体制を強化したことも含め、本格的な

教育改革は始まったばかりでありますけれど、すでに成果も着実に出てきており、本校のめざすべき指針は明確になってきました。

嬉しい情報をいくつか紹介します。3年次に全国立高専で一斉に行っている学習到達度試験において、昨年度数学で全国一になりました。また、全国高専デザコン構造デザイン部門において、今年度念願の初優勝を果たし、国土交通大臣賞を受賞しました。新聞やTV等に取り上げられることも多くなってきましたが、その影響は志願状況に顕著に現れてきています。増え続けている推薦志願者数は今年度も過去最高となりましたし、推薦基準のきわめて高い特別推薦も、昨年度より基準を上げたにもかかわらず、これまた過去最高となり、着実に質も向上してきています。これらの状況は本校HPの各バナーにまとめていますので、ご覧いただければ幸いです。

これからも同窓会のみなさまに誇らしく思っただけの日本一の高専をめざし、全学あげて取り組む所存です。引き続きご支援のほど、お願いいたします。

同窓会副会長 就任 あいさつ

新副会長 増木 誠治
(土木工学科15期)

同窓会のみなさんこんにちは。この度、副会長に就任することとなりました増木です。

職場は呉市上下水道局で、主にアセットマネジメントなどの計画業務に携わっており、今後到来するであろう、更なる人口減少化社会における水道施設の更新の在り方について、日々頭を悩ませています。

卒業して今年で30年、時流に応じて大きく様変わりしていく母校を間近で見えておりますが、最近の学生はすごいですね。学生時代、夜な夜な同級生の下宿に集まり、健全な(?)生活を送っていた頃がすごく懐かしく思えるようになってきた一方で、自分たちの頃とは異なる学生の真面目な活動を見るにつけ、本当に頼もしく思っています。

この度、副会長という大役を拝命したわけですが、会則にも謳われてあるとおり、母校の発展・社会の発展に寄与できるよう、微力ながら取り組んでまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

— 追記 —

ここに掲載する写真は、平成23年夏に本校近くの某焼肉店で行ったプチ同窓会の写真です。前述のとおり、今年は卒業30年の節目の年に当たるので、盛大にクラス会を開催しようと今から張り切っているところです。



プチ同窓会にて

学科だより

呉高専今昔物語 (その3)

人文社会系分野代表 宇根 俊 範

同窓会員の皆様方におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。4月から2017年度を迎えますが、いよいよ私も定年退官の年となり、34年間の高専での教員生活を振り返ってみますと感慨ひとしおであります。「同窓会だより」の原稿依頼がありましたか、今回は「呉高専の語り部」として前回、前回に引き続いて「呉高専今昔物語」(その3)と題して昔話をさせていただきます。今回は私が呉高専で体験した感動的なできごとに関して少しお話させていただきます。一つ目は、高専祭の前夜祭の企画である3年生による「学科対抗ビデオ」です。従来は「学科対抗劇」でしたが、これが(素人ですから仕方ないのですが)、演技が下手、下品、時間オーバーする等いろいろ問題点を抱えていました。当時(平成2年か3年頃?)の高専祭実行委員長のF君の発案で劇をやめてビデオに変えましたが(私は高専祭担当の学生主事補でした)。プロジェクターが普及しはじめた頃で、1台の価格が80万円もする代物でした。当然、これを購入する予算はありませんので、業者と掛け合い「来年度には買うから…」という約束で2万円レンタルさせて

いただきました。今ではスマホ1つでビデオ撮影、編集が容易にできますが(しかも画質もすこぶるよい)、当時のビデオカメラは性能もそれほどではなく、撮影には随分苦勞したものと思います。編集も大変だったようで徹夜で完成させたクラスも結構あったようです。その分、前夜祭当日に無事上映されたときは感動的でした。対抗ビデオを始めたころは不思議と「刑事もの」の作品が多く、そのため放課後にはあちこちで殺人事件(?)が起きており、刑事と思われる人物が歩き回っていました。数多くの感動的な作品を見ましたが、印象に残っているのはE科の「猿男ウッキー」という作品で、本編もさることながら、最後に「来春公開!!猿男ウッキー パート2」の予告編があり、「猿男、ポートピアに現る!!」として実際にポートピアで撮影した映像があり、腹を抱えて笑いました。

二つ目は同窓会にも応援していただいています、新しい学校行事の「文化行事」です。「心豊かなエンジニア」の育成を目的に始めた行事ですが、これまで世界的バイオリニストの千住真理子さんやアニソンの帝王水木一郎さん、津軽三味線の吉田兄弟の兄のユニットWASABI等に呉に来ていただき、学生たちは間近で一流の芸術家の“技”に触れ感動し圧倒されました。とりわけ数億円と言われる名器ストラディバリウスでの千住真理子さんの演奏会は、ビビリした緊張感でいっぱいでしたが、学生のみならず一般応募の多くの呉市民の方々にも喜んでいただき、大満足の演奏会でした。「文化行事」は今後も同窓会のお世話になると思います。何卒よろしくお願いします。

自然科学系分野の近況

自然科学系分野代表 森 貞 雄

卒業生の皆様におかれましては各界でご活躍のことと存じます。自然科学系分野の近況をお知らせいたします。

4月に小林正和先生が着任されました。専門は宇宙物理学で本校では数学を担当していただいております。さっそくに紹介する学術交流でもご活躍いただきました。

本学では大連大学(中国)との学術交流として毎年学生を2名迎え、異文化体験や呉高専で学生の専門分野に関する研究を体験してもらっています。今年は、日本語を専攻しているキンさんと英語を専攻しているセツさんを一般科(人文・自然分野)でお世話しました。といっても一般科教員が担当したのは彼女たちの10日間の滞在中4日間です。残りの6日は先に大連でお世話になった本校学生が中心になって広島観光や見学などを通し交流活動を行いました。4日間の内容は英語を使いながらの呉市内散策、中学校での体育授業の見学、文化遺産、短歌・俳句、歌謡などの日本文化紹介、からくり折り紙や立体折り紙の体験に加え、最終日に

発表会まで設定された盛り沢山のものでした。

また、呉高専では国から研究費(科研費)をもらっての研究も多くなされています。今回はそのひとつ「リバースエンジニアリングを活用したものづくり教育の開発研究」(林教員)を紹介いたします。この研究は学生が興味を引くような商品に対するリバースエンジニアリング(製品を分解して製品技術を調べる手法。本来は新製品に利用する目的で行われるもの)を行い、学生の自主的な「学び」を引き出すことを目的としています。身近な商品を対象とした調査・分析は、得られた分析結果の考察や機器の物理的な原理の理解を学生に促し、これまで学習していない未知の分野についても学習を行う動機付けになります。

最後になりましたが同窓会会員の皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



前列左からキンさん、セツさん(学術交流)



リバースエンジニアリング(液晶の分解)

機械工学科の近況

機械工学分野代表 尾川 茂

機械工学科の卒業生の皆様におかれましては、各界で益々のご活躍のことと存じます。また、平素より学生の就職・インターンシップ等で多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。引き続き分野代表を務めさせて頂く尾川です。今年度で2年目を迎えますが、どうぞよろしくお祈り致します。

現在の機械工学科は、教授6名、准教授4名、助教(女性)1名の11名体制で教育・研究にあたっております。メンバーは、尾川(教授、振動騒音、分野代表)、山田 宏(教授、薄膜材料、寮務主事補)、西坂(教授、金属材料、学生主事)、岩本(教授、経営工学、専攻科長)、中迫(教授、機械要素、5年担任)、高田(教授、熱流体解析、4年担任)、野村(准教授、流体工学、教育主任)、上寺(准教授、構造最適化、学生主事補)、山田祐二(准教授、制御工学、教務主事補)吉川(准教授、半導体設計、専攻科長補)、國安(助教、金属疲労、1年副担任)です。

学生の進路については、本科卒業予定者38名のうち、就職が30名(79%)、進学が8名(21%)で、進学が昨年の36%に対してやや減少しました。就職先は、マツダ(4名)、旭化成(3名)、キヤノン・三菱重工・JR東海・パナソニックの各社に2名ずつと昨年と同様一つの企業に複数名の内定者が目立つ傾向が続いています。学生達は、3月1日からの会社説明、そして6月1日の選考開始を経て高い求人倍率の中、就職活動に取組み8月には全員が内定となりました。一方、進学先は本校専攻科5名、東京農工大・広島大に各1名であり、留学生1名は帰国して進学予定です。

機械工学科では、今年度から新しく、歩行ロボットによりスピードを競う第1回高専ミニコンを開催しました。エントリーした中学生は24名(中学校としては8校)で、教員・保護者・応援生徒を含めると約40名の参加となりました。今後も本科のミニロボコン大会を継続することで、モノ造りに関心の深い中学生が集まり、入学してからもロボコン部に入り全国大会に向けて力を発揮してくれることを期待しております。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

電気情報工学科の近況

電気情報工学分野代表 **田中 誠**
(電気工学科11期)

まずはOBの話から。9期の還暦同窓会が平成28年5月10日盛大に行われました。担任の村上滋樹先生をはじめ、若宮正明先生、廣光清次郎先生にご出席頂きました。

平成29年1月3日の同窓会総会・懇親会には、若宮正明先生、野村利英先生にご参加頂きました。野村先生には平成28年度、2年の電気回路と4年のエネルギー変換工学の非常勤講師に来て頂いております。



次に学科の話から、外谷先生の、学生提案プロジェクト型の卒業研究、水中観察用のロボットが「学生の夢実現プロジェクト」に選ばれ、そのロボットを使ったイベント活動が、近隣の

小学校と阿賀マリノ地域で行われ、中国新聞にも取り上げられました。



最後に、電気工学科、電気情報工学科の教育に長年ご貢献頂きました山崎勉先生が平成29年3月に定年退職されることになりました。先生には再雇用で、引き続き電気情報工学のご教育を担当頂くことになっています。また技術センターの坂井貴彦先生の再雇用期間が3月をもって終了いたします。本当に長い間ご指導いただき有難うございました。

環境都市工学科の近況

環境都市工学分野代表 **森脇 武夫**

土木工学科および環境都市工学科の卒業生の皆様におかれましては、各界で益々活躍のことと存じます。また、日頃から本校の教育・研究に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在の環境都市工学科は、教授3名、准教授6名、助教2名の11名体制で教育・研究にあたっています。なお、堀口先生は現在、米国カリフォルニア大学パークレー校に留学中で3月には帰国されますが、来年度は三村先生がオーストラリアのカーティン大学に在外研究で1年間留学されます。また、加納先生が高専機構本部に来年度から3年間出向されることになりました。

環境都市工学科は、これまで4年生から建設システムコースと環境システムコースに分かれていましたが、全国高専の土木系のモデルコアカリキュラムと整合性を取るために今年度からコース制を廃止し、一本化しました。

学生の進路につきましては、本科卒業予定者39名のうち、就職が

30名、進学が9名で、ここ最近の傾向と同様に進学がやや少な目です。就職先は、国土交通省や広島市などの公務員5名、中国電力やJR東海などの公益企業14名、大成建設や五洋建設などの建設系企業7名、NEXCOエンジニアリング中国などの建設コンサルタント2名、富士通などその他の企業2名です。進学先は、本校専攻科8名、豊橋技術科学大学が1名です。今年度は民間の選考開始が6月1日と昨年度より早くなりましたが、進路の確定は従来とほとんど変わらず、公務員に関しては内定が11月になったものもありましたが、それ以外は全員夏過ぎには内定をいただきました。来年度も今年度と同様な日程で就職活動を行いますので、声を掛けていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。



休山トンネル見学

建築学科の近況

建築学分野代表 **間瀬 実郎**

建築学科同窓生の皆様におかれましては、大いにご健勝のことと存じます。引き続き建築学分野代表を務めさせていただき間瀬です。今年度で6年目となりますが、どうぞよろしくお祈りいたします。

まずは、入学志願者倍率です。27年度入学生の1.90倍、28年度入学生の1.85倍、そして平成29年度入学生は2.23倍となり、ここ数年高倍率をキープしています。中でも今回の念願の2倍を超える倍率を達成しました。これは久しぶりの高い倍率です。同窓生の皆様からのご協力の賜物と感じております。

さらに嬉しいニュースがあります。デザコン(全国高専デザインコンペティション2016)の構造部門で本校建築学科の学生が最優秀賞と優秀賞を獲得しました!デザコンで最優秀をとることは建築学科の悲願でした。指導した松野先生、デザコン委員の光井先生の指導が実った結果となりました。今回のデザコンでは、独自のプログラムを駆使した最適設計とレーザー加工機で作った治具によってブリッジを製作しました。このブリッジは写真のように細い針金だけでできています。これが60kg以上の载荷に耐えて

最優秀賞を勝ち取りました。ハイテク機器と学生の緻密な手作業は21世紀の建築の設計手法の一例と言えるでしょう。

一方、昨年度から始まった本校全体の特徴的な授業である「インキュベーションワーク」があります。全教員が個々にオリジナルのテーマを掲げ、学生は学年、学科を問わず好きなテーマに所属して取り組みます。建築学科の教員も積極的に魅力的なテーマを出しており、その成果が新聞や呉市の市政だよりなどに掲載されています。詳しくは本校のホームページを御覧ください。

これからの産業界を維持するためには女性技術者、理系女子の活躍が不可欠とも言われております。本校建築学科はそれのための教育を着実に進めています。28度の本科入学生以降、女子学生の割合は確実に増えてきております。今後も皆様のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご支援をお願い申し上げます次第であります。



ショールームに展示されたブリッジ

定年退職で 思うこと



山崎 勉



1978年に本校電気工学科に助手として就職し、39年後の2017年3月をもって定年退職を迎えることになりました山崎勉です。電気工学科-電気情報工学科(H14年度から)の教員として、1983年からは学級担任(のべ24クラス)として学生たちと接し、彼らから多くを学ばせて頂きました。クラブ顧問として思い出すのは、全くの素人顧問でありま

したが、学生の努力とコーチの的確な指導により高専大会では何度も全国大会に参加しソフトテニス団体戦準優勝の栄誉に立ち会えました。その後のソフトボール部では、部員が集まらない時期から抜け出した2009年、数名の積極的な活動により高体連に加盟し中国選手権大会広島県予選会で第3位の成績を2度挙げました。これらは高専生が優れた素質を持つ集団である事の証です、その成長を後押しする体制さえ維持されれば呉高専ますますの発展が期待されうれしく思っております。

最後になりましたが、良き学生と良き教職員に恵まれて楽しく過ごすことができたことにお礼を申し上げます。呉高専の益々の発展を祈念し、また同窓会の皆様のごこれまでのご援助にお礼を申し上げますと共にご活躍とご多幸を祈念しています。

卒業生の近況

OBの近況報告



土木工学科5期

小田 朋志



私が高専を卒業したのは1978年で以後40年近い歳月となりました。

職場の福山市役所で退職まで残りわずかになり、心がけているのは、われわれが技術者としての誇りを持って仕事に取り組むことで市民に喜んでもらえ、自分自身にも仕事に対する達成感、満足感が得られるのだということを職場の後輩に対して伝えることです。

今年1月に発足した呉高専技術士九嶺会にも加入させていただき、微力ながら後輩への資格への意識付け、資格取得への応援をしていくこととしています。このことが次世代に対して技術の大切さと継承につながるものと信じております。

また、土木5期生の仲間とは5月に、選歴記念を兼ねた旅行を計画しています。4年間担任だった竹村先生が退官後に帰郷された高知でお会いして以来5年ぶりの再会を期しての旅行です。多くの同級生が参加して先生と再会できることを心待ちにしています。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝とご活躍を祈念するものです。

「呉高専技術士九嶺会」設立総会

竹内 賢治
(電気工学科6期)

平成29年1月14日(土)に「呉高専技術士九嶺会」の設立総会を本校会議室にて開催しました。

この会は公益法人日本技術士会中国本部と連携し科学技術の向上及び呉工業高等専門学校への発展に寄与することを目的として設立されたもので、母校卒業生及び在学経験者で、技術士資格者により構成されます。

1月14日時点での会員数は78名、設立総会は学生7名を含め41名の出席にて行ない、技術士九嶺会の紹介に続きベテランから若手まで(3C~24C卒業生)の記念講演、リレー対談により盛会となりました。

事務局連絡先:nagaha@longfield.jp (電気工学科6期 長原基司)



総会挨拶 (長原、藤原、鶏内、川端)



集合写真

学生の同窓会表彰について

平成28年度は以下の成績を収めた6名、1クラブ、2チームを表彰しました。
(平成28年12月末現在)



矢野明日香・矢野遥香ペア

この内、第51回全国高等専門学校体育大会ソフトテニス女子個人戦ダブル스에優勝した矢野明日香君・矢野遥香君は、第49回大会3位と第50回大会優勝に続く3年連続の表彰となりました。

○第51回全国高等専門学校体育大会

- ・ソフトテニス女子個人戦ダブルス 優勝/賞状+副賞(3万円)
矢野明日香(建築5年), 矢野遥香(建築5年)
- ・ソフトテニス女子個人戦ダブルス 3位/賞状+副賞(1万円)
今田桃世(建築3年), 森木みずうみ(建築3年)
- ・野球競技 3位/賞状+副賞(1万円)
硬式野球部(高専チーム)

○個人の活動

- ・TOEIC高得点(800点以上)/賞状+副賞(1万円)
大室ひな(環境4年):900点
本多陽敬(機械3年):940点

○第13回全国高等専門学校デザインコンペティション

- ・構造部門 最優秀賞 賞状+副賞(3万円)
チーム名:最善線
小田祐太(建築5年), 中本大暉(建築4年), 松本紘幸(建築4年), 田中瑞希(建築3年), 空舞花(建築2年), 栄井志月(建築1年)
 - ・構造部門 優秀賞 賞状+副賞(1万円)
チーム名:捲土橋来
相川裕一(建築5年), 宇田康晃(建築5年), 田端啓悟(建築5年), 松下菜緒(建築5年), 種大介(建築4年), 井上咲(建築3年)
- 今後も学生の更なる活躍を期待しています。

学生の課外活動状況

体育系

第52回中国地区高等専門学校体育大会成績(団体)
7月1日(金)~7月3日(日) 会場:呉・広島・津山

| 種目 | 順位 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 陸上競技 | 男子 | 徳山 | 米子 | 津山 | 呉 | 広島 | 松江 | 大島 | 宇部 |
| 陸上競技 | 女子 | 米子 | 広島 | 宇部 | 大島 | 徳山 | 津山 | 松江 | 呉 |
| バレーボール | 男子 | 松江 | 徳山 | 米子 | | | | | |
| | | | | 津山 | | | | | |
| バレーボール | 女子 | 松江 | 大島 | 米子 | | | | | |
| | | | | 宇部 | | | | | |
| 柔道 | | 松江 | 津山 | 米子 | | | | | |
| 硬式野球 | | 呉 | 津山 | 宇部 | | | | | |
| | | | | 徳山 | | | | | |
| テニス | | 徳山 | 米子 | 呉 | | | | | |
| | | | | 松江 | | | | | |
| バスケットボール | 男子 | 松江 | 津山 | 大島 | | | | | |
| バスケットボール | 女子 | 松江 | 宇部 | 徳山 | | | | | |
| 剣道 | 男子 | 広島 | 松江 | 呉 | 大島 | 徳山 | 津山 | 宇部 | 米子 |
| 剣道 | 女子 | 松江 | 呉 | 徳山 | | | | | |
| サッカー | A | 大島 | 津山 | | | | | | |
| | B | 松江 | 徳山 | | | | | | |
| バドミントン | 男子 | 徳山 | 米子 | 呉 | | | | | |
| | | | | 松江 | | | | | |
| バドミントン | 女子 | 徳山 | 宇部 | 呉 | | | | | |
| ソフトテニス | | 徳山 | 呉 | 津山 | | | | | |
| 卓球 | 男子 | 広島 | 徳山 | 宇部 | | | | | |
| | | | | 津山 | | | | | |
| 卓球 | 女子 | 広島 | 徳山 | 米子 | | | | | |
| | | | | 宇部 | | | | | |
| 水泳 | | 松江 | 大島 | 米子 | 宇部 | 広島 | 徳山 | 徳山 | 呉 |
| ハンドボール | | 津山 | 米子 | 徳山 | | | | | |
| | | | | 宇部 | | | | | |

注)太枠線は団体戦全国大会出場校
団体種目のない陸上競技、水泳競技については総合順位とする。

第98回全国高等学校野球選手権広島大会
(7月15日(金) 東広島運動公園野球場)
(2回戦) 呉高専 8-2 上下高校
(7月17日(日) 福山市民球場)
(3回戦) 呉高専 0-10 広島新庄高校(3回戦敗退)

第22回西日本地区高等専門学校 空手道大会
(7月9日(土)~10日(日) 会場:久留米高専)
【男女】 団体形3位

第51回全国高等専門学校体育大会成績(団体)
(8月17日(水)~9月4日(日) 主管:豊田高専)
硬式野球 3位
剣道【女子】 予選リーグ敗退

第25回西日本地区高等専門学校
アーチェリー競技会
(8月25日(木)~26日(金))
会場:しあわせの村アーチェリー場(神戸)
【男子】 団体 準優勝

第52回中国地区高専体育大会冬季大会
(ラグビー競技)
(11月11日(金)~13日(日))
主管:呉高専(呉市総合スポーツセンター)
Bパート 1回戦敗退

文化系

高専ロボコン2016中国地区大会
(10月22日(土)~13日(日) 主管:津山高専)

Aチーム「全鯉昇(ドッコイショー)」:1回戦敗退
Bチーム「SynchLoad」(シンクロード):2回戦敗退

全国高専第27回プログラミングコンテスト
(10月8日(土)~9日(日) 主管:鳥羽高専)
【競技部門】 1回戦突破
準決勝第4試合敗退

第13回全国高専デザインコンペティション
(12月17日(土)~18日(日) 主管:高知高専)
【構造デザイン部門】「最善線」:最優秀賞(国土交通大臣賞)
「捲土橋来」:優秀賞

平成27年度卒業生の就職・進学先

| | 卒業生数 | 就 職 先 | 進 学 先 | |
|--------|----------|---|--|---|
| 本 科 | 機械工学科 | 39 | (株)IHI航空宇宙事業本部呉第二工場, JFEスチール(株)西日本製鉄所(2), 旭化成(株)(2), アルストムパワージャパン(株), 花王(株)(2), 呉市役所, (株)京都製作所, ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所, セイコーエプソン(株), ダイキン工業(株), 千代田化工建設(株), 中国電力(株), 西日本旅客鉄道(株), マツダ(株)(3), (株)マツダE&T(2), 三浦工業(株), 三菱電機ビルテクノサービス(株), リョービ(株) | 筑波大学理工学群, 東京農工大学工学部, 豊橋技術科学大学工学部, 富山大学工学部, 大阪大学工学部, 神戸大学海事科学部, 熊本大学工学部, 呉工業高等専門学校専攻科(7) |
| | 電気情報工学科 | 40 | Coltテクノロジーサービス(株), JFEスチール(株)西日本製鉄所(2), JFE電機(株), (株)NHKメディアテクノロジー, (株)NTTファシリティーズ, 今治造船(株), 大阪ガス(株), 花王(株), 関西電力(株), キヤノンマーケティングジャパン(株), 三機工業(株), (株)ジェイベック, ジャパンマリンユナイテッド(株), 全日本空輸(株), ダイキン工業(株), 中国化薬(株), 中国電力(株)(3), 中電技術コンサルタント(株), 中部電力(株)(2), 東海旅客鉄道(株), 東京ガス(株), 東京電力(株), パナソニック(株)AVC ネットワークス社, パナソニック(株)アプライアンス社(2), マツダ(株)(2), (株)マツダE&T, 三菱電機ビルテクノサービス(株), (株)明電舎 | 広島大学教育学部, 高知大学工学部, 呉工業高等専門学校専攻科(3) |
| | 環境都市工学科 | 37 | (株)JFE設計, (株)NIPPO(2), いであ(株), オルガノ(株), 大阪ガス(株), 基礎地盤コンサルタンツ(株), 呉市役所, 国土交通省中国地方整備局, 五洋建設(株)(3), ショーボンド建設(株), 中国高圧コンクリート工業(株), 中国電力(株)(2), 中部電力(株), 東海旅客鉄道(株)(3), 東京都庁, 西日本高速道路(株), 西日本高速道路エンジニアリング中国(株), 西日本高速道路メンテナンス中国(株)(2), 広島市役所, 富士通(株), (株)横河ブリッジ | 大阪大学工学部, 豊橋技術科学大学工学部, 呉工業高等専門学校専攻科建設工学専攻(6) |
| | 建築学科 | 34 | JFE設計(株), アズビル(株), (株)大林組, 鹿島クレス(株), 関西電力(株), 九州旅客鉄道(株), 五洋建設(株), 三機工業(株), 三菱冷熱工業(株), (株)銭高組, 大東建託(株)(2), 大和ハウス工業(株), (株)竹中工務店, 西日本高速道路ファシリティーズ(株), 日鉄住金テックスエンジニア(株), 廿日市市役所, (株)増岡組, 三井ホーム(株), (株)三越伊勢丹プロパティ・デザイン, 三菱地所コミュニティ(株) | 筑波大学理工学群, 横浜国立大学理工学部, 豊橋技術科学大学工学部, 熊本大学工学部, 滋賀県立大学環境科学部, 神戸芸術工科大学芸術工学部, 呉工業高等専門学校専攻科(7) |
| | 機械電気工学専攻 | 6 | (株)アスパーク, (株)インダ, (株)浜野製作所, マツダ(株) | 豊橋技術科学大学大学院工学研究科(2) |
| 建設工学専攻 | 4 | 国土交通省中国地方整備局, (株)サンエー・ピーディー, 広島市役所, 福山市役所 | | |

呉高専教員 人事異動

退職 (平成28年3月31日)

西宮 善幸 (建築) 定年退職

異動(人事交流) (平成28年4月1日)

山田 祐士 (機械) 津山高専より

採用 (平成28年4月1日)

大森 誠 (一般;人文社会系)

小林 正和 (一般;自然科学系)

再雇用 (平成28年3月31日)

西宮 善幸 (嘱託教授)

採用 (平成28年6月1日)

佐藤 榮祐 (特命教授; 専攻科) (有期雇用職員)

大田 一夫 (特命教授; 専攻科) (有期雇用職員)

藤本 義彦 (特命准教授; 専攻科) (有期雇用職員)

採用 (平成28年8月1日)

中西 敏明 (特命教授; 専攻科) (有期雇用職員)

寄付金の募集について

同窓会では、より活発な活動を行うため同窓生の皆様から広く寄付金を募っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

口座番号 01310-1-2212
加入者 呉工業高等専門学校同窓会

ご 注 意

本同窓会が個人情報管理を委託しているのは「株式会社サラト」のみです。「株式会社サラト」以外から同窓会名簿購入等のダイレクトメールが届くことがあるかと思いますが、これは本同窓会とは全く関係ありませんのでご注意ください。

★同窓会ホームページ、メールアドレスのお知らせ

同窓会のホームページが呉高専ホームページ内にあります。ぜひご覧ください。
URL: <http://www.kure-nct.ac.jp/research/dosokai.html>

また、同窓会用メールアドレスは以下の通りです。住所変更の連絡などにご利用ください。
アドレス: OBOG@kure-nct.ac.jp

*個人情報の取り扱いについて

本同窓会(個人情報管理委託先:株式会社サラト)で所有する会員の個人情報は、会員間の親睦以外に使用することはありません。